

国有地における整備の方向性について

(MIZBE ステーション及びかわまちづくり計画の策定に向けた取組みについて)

県立高等専門学校(以下「高専」という。)の令和 10 年春開校に合わせ、本市では高専設置場所に隣接する国有地(市三宅地先)において、河川防災ステーションの整備に向けて、国・県・市で調整を進めているところです。

本年3月に河川防災ステーションの役割を深化させた地域活性化拠点となる「MIZBE ステーション」制度が新設されました。当該地を拠点とした地域活性化を推し進めるため、MIZBE ステーション及び河川空間を活かした地域のにぎわい創出を目指す「かわまちづくり」に向けて取組みを進めるために、野洲市 MIZBE ステーションかわまちづくり協議会を設置し、高専開校並びに MIZBE ステーション整備を前提としたかわまちづくり計画について、国・県・市が連携し、検討を進めて参ります。

●MIZBE ステーションとは

災害時に緊急復旧活動や水防活動を迅速に行うための拠点である「河川防災ステーション」の機能に加え、平常時には地域活性化やにぎわい創出の拠点としての機能を有する施設です。

本施設を整備する際は、国土交通省水管理・国土保全局長に整備計画の登録が必要です。

●かわまちづくりとは

河川空間とまち空間が融合した良好な空間を形成し、河川空間を活かして地域のにぎわい創出を目指す国土交通省の支援制度です。

本支援制度の活用にあたっては、「かわまちづくり計画」を策定し、国土交通省水管理・国土保全局長に計画の登録が必要です。

野洲市域には直接野洲川の水に親しめる場所がなく、以前から水辺を活かした場所づくりが求められているため、MIZBE ステーション整備に合わせて、「かわまちづくり」の取組を進めて参ります。

●高専との連携

本市では高専設置場所の誘致にあたり、高専に隣接する国有地においては、MIZBE ステーションを整備することにより、平常時は高専でもグラウンド利用等、良好な教育空間を提供することが可能になるとともに、かわまちづくりにより、地域活性化の拠点としての活用も期待されます。国・県・市連携のもと、これら施策を一体的に進めて参ります。

高専誘致提案時の施設配置イメージ(高専+河川防災ステーション)



現時点での想定イメージ(高専+MIZBE ステーション+かわまちづくり)



平常時活用イメージ



野洲川河川敷の魅力を活かした新たなにぎわいづくり基本方針イメージ



陸上競技場



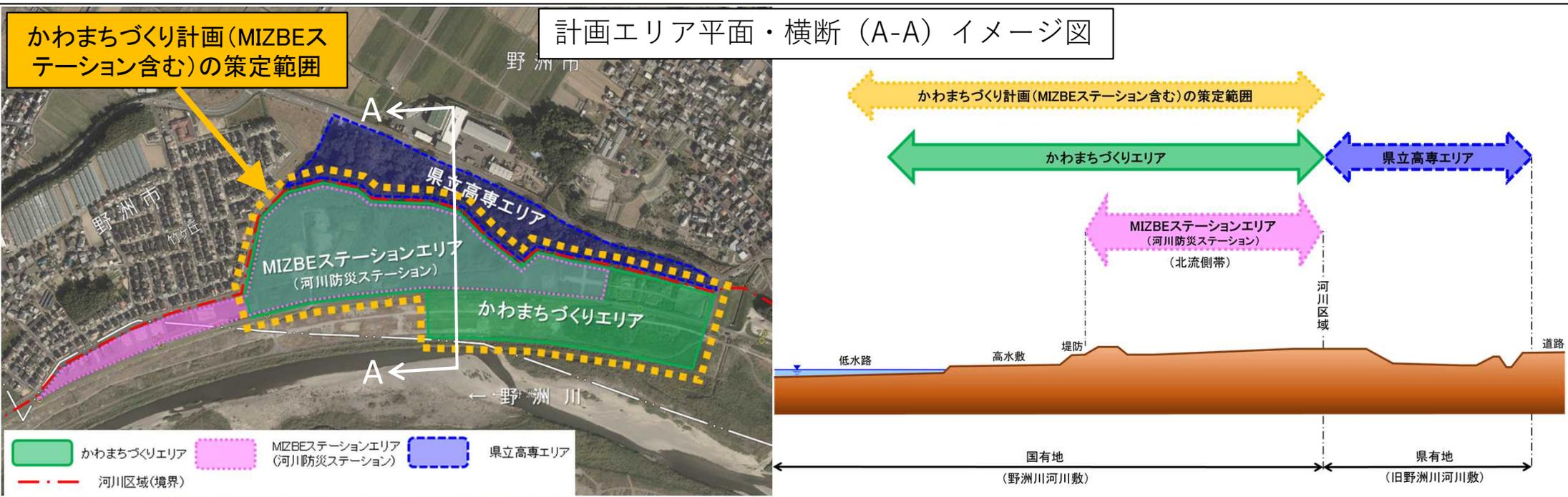
テニス場



休日マルシェ



水防訓練



土木技術講習



グラベルコース



サイクリング



環境学習